



情報処理教育設備・語学教育設備の刷新にあたり

—情報メディアセンターの発展を祈願して—

(学)常翔学園本部システム室課長
前情報メディアセンター事務室長
田添 司



このたびの東日本大震災の被害に遭われました地域の皆さまに、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

梅雨空の間からのぞく青空は、もうすっかり夏色になってきました。時の流れは早いもので、今年度前期もすでに折り返しの時期となりました。在学生はもとより、今春新たに摂大生となられた皆様も大学生活を楽しんでおられることと思います。

さてセンターでは、この程、情報処理教育設備・語学教育設備、学内 LAN 設備を刷新しました。これまでの導入作業やテスト運用を経て4月から本運用を開始しています。学生の皆さんも既にご活用のことと思います。

本学の情報処理教育は30年以上の歴史がありますが、私が、情報メディアセンターの前身である情報センターに着任した当時は、大型コンピュータをパンチカードや専用の端末機を用いて操作する形態でした。現在のように一人一台ずつパソコンを利用するスタイルになったのは1980年代後半で、パソコンにMS-DOSというOSが搭載されてからの話です。その後、学内LANやインターネットが急速に普及し、情報処理教育でもネットワーク利用が必須となりました。本学でも1997年度にWindows95を搭載したパソコンが導入され、ネットワーク利用環境などが整備されました。2000年度にはWindows2000にバージョンアップし、より高度なネットワーク利用ができるようになりました。その後2003年度にWindowsXP、2007年度にはWindowsVista、そして今回Windows7へとグレードアップし、現在の情報処理教育設備へと進化して参りました。今後もこの情報化の流れは留まる事はないと考えられます。私も含め当時の学生さんや先生方もまた、これらの技術革新の波にさらされ、好むと好まざるとにかかわらず自らの意識改革や知識を更新する必要がありました。学生として、職業人として当然のことですが、結果的にその努力は自らを助けることになります。

昨年はスマートフォンやiPadなどの情報端末が飛躍的な発展・普及を遂げました。また、フェイスブックやツイッターなど新たな情報発信の仕組みも現れてきました。これまで考えられなかった規模や速さで情報が伝達し活用されています。世界規模の情報共有・活用によって歴史が急激な勢いで塗り替えられようとしています。情報は、活かすも殺すも利用者の考え方、使い方次第です。学生の皆さんにおかれましても、本学の情報処理教育設備を積極的に利用し、情報をより有効活用するための知恵やスキルを磨き上げてください。

(※)MS-DOS,Windows 95/2000/XP/Vista/7 は Microsoft 社の登録商標です。iPad は Apple Compute 社の登録商標です。

情報処理室 リニューアルスタートしました

情報処理室（寝屋川）、情報処理演習室（枚方）のパソコン 756 台を新しいパソコンと入れ替え、新システムでの稼働が 4 月から開始しました。情報リテラシー教育で使用する Microsoft Office の他、プログラミング、CAD ソフト等、多彩な用途に速やかに対応するため、SSD（フラッシュメモリドライブ）を搭載しています。第 8 情報処理室ではパソコンを 20 台増設し、120 台が自習用として利用できます。ご活用ください。

オンデマンドプリンタ

第 8 情報処理室（自習専用教室）に、オンデマンドプリンタを 4 台設置しました。各学生が自分の印刷物を管理し、印刷物の大量放置をなくすためにこのシステムを導入しました。使い方は、次のとおりです。

1. パソコンから印刷実行を行います
2. オンデマンド端末(プリンタ上段に設置)のリーダーに学生証をかざすと、印刷ジョブが表示されます
3. チェックを入れてスタートを押します
4. プリンタから出力されます

表示された印刷ジョブが不要であればキャンセルができ、印刷カウントされません。近くのプリンタが使用中の場合は、教室内の他のプリンタからでも操作が可能です。また、学生証を持っていない場合は、オンデマンド端末のソフトキーボードからログインして、印刷できます。

プロジェクター

寝屋川の第 1～5 情報処理室と枚方の情報処理演習室において、新規に据え置き型のプロジェクターを設置しました。小さい文字まではっきり見せたい場合は中間モニター、発表等ではスクリーンと使い分けることができます。第 7,8 情報処理室で必要な場合は教員向けに情報メディアセンターにて可搬式プロジェクターを貸し出ししています。

ストリーミング・システム Z!Stream

ithink、EViews、TSP、Stata については、ライセンス数が制限されているため、Z!Stream を使ったブラウザ上での利用となります。授業での利用が優先されますが、空いていれば、第 1～8 情報処理室のデスクトップ「Z!Stream」ショートカットから利用可能です。情報処理室以外からの利用はできません。ご利用方法はウェブページに掲載しています。



情報処理室 教卓・学生パソコン

本体機種	富士通 ESPRIMO D550/B
CPU	IntelCore2DuoE7600(3.06GHz)
HDD	寝屋川：SSD128GB 枚方：SSD80GB、40GB(CBT 用)
ドライブ	スーパーマルチ
モニター	19 インチワイド液晶
メモリ	4GB

情報処理室 教卓回り

PCL 教材提示システム
DVD/VHS デッキ（CPRM 対応）
プロジェクター（第 6,7 情報処理室除く）
教卓 PC はブルーレイ対応

情報処理室導入ソフトウェア

- ・ Microsoft Windows 7 Professional
- ・ Microsoft Office Professional Plus 2010 (Word/ Excel/PowerPoint/Access/Publisher)
- ・ Microsoft Visual Studio 2010
- ・ Eclipse（統合ソフトウェア開発環境）
- ・ 瞬快（再起動による瞬間復元ソフト）
- ・ Symantec Endpoint Protection
- ・ Office Project Std 2010（寝屋川第 2 のみ）
- ・ LEGO（寝屋川第 2 のみ）
- ・ TeX
- ・ Winshell
- ・ GIMP
- ・ Inkscape
- ・ ArcGIS

CALL 教室 リニューアルスタートしました

CALL 教室 1～4 の 242 台 (学生、教卓、代表含む) のパソコンを入れ替えました。OS は Windows XP から Windows7、MS Office は 2003 から 2010 となり、パソコン環境は情報処理室とほとんど同じになりました。CALL 教室 4 のディスプレイをタブレットディスプレイに交換しました。ディスプレイから直接指で操作、付属のペンを用いて描画することができます。

wivia (ワイヴィア)

CALL 教室 1 では wivia を使って、代表者と学生のどのパソコンからでも、画面をスクリーンに投影することができます。ディスカッションや発表用として使うことができます。wivia は、教卓のスイッチから切り替えて使用できます。フルサイズと、4 分割での投影が可能です。

ソフトレコーダー

ver.7.5 にバージョンアップしました。ソフトレコーダーには、話す練習に効果的な機能を数多く搭載した「スピーキング」、動画による学習を可能にした「スクリーンレッスン」、発音を練習できる「音声評定」等があります。また、音声、映像の登録により、オリジナルの教材を作ることでもでき、録音、アフレコ録音のツールとして使用できます。録音したファイルは提出ボタンから、容易に教員に提出が可能です。

CALL 教室 学生パソコン	
本体機種	富士通 ESPRIMO D550/B
CPU	IntelCore2DuoE7500(2.93GHz)
HDD	160GB
その他	ヘッドセット CCD カメラ (CALL4 のみ)
ドライブ	DVD-ROM
モニター	(CALL1,2,3)15 インチ液晶 (CALL4)18.5 型タッチディスプレイ
メモリ	4GB

CALL 教室 教卓回り	
PC@LL 教員システム DVD/VHS デッキ・プロジェクター 教卓 PC はブルーレイ・CPRM 対応	

CALL 教室 導入ソフトウェア	
・ Microsoft Windows 7 Enterprise ・ Microsoft Office Professional Plus 2010 (Word/ Excel/PowerPoint/Access/Publisher) ・ PC@LL ソフトレコーダー ・ PC@LL システム ・ 英語音声朗読ソフト ・ 中国語音声朗読ソフト (CALL1,4 のみ) ・ 瞬快 ・ Symantec Endpoint Protection	

共通システム ATRCALL

情報処理演習室 (枚方)、CALL 教室、第 8 情報処理室にて、ATRCALL という英語の学習システムが利用できます。以下の 8 つのコースを受講することができます。大学のパソコンでの学習の他、自宅パソコンでも学習することができます。自宅パソコンで利用するためには、初回利用時、プラグインソフトをインストールする必要があります。ログイン ID はパソコンのログインと同じですので、ぜひ一度お試しください。

PreCollege1	初級レベルの語彙(1～1,000 語レベル)と文章表現の聞き取り・発音
PreCollege2	初中級レベルの語彙(1,001～2,000 語レベル)と文章表現の聞き取り・発音
PreCollege3	高校レベルの語彙(2,001～3,000 語レベル)と文章表現の聞き取り・発音
PreCollege4	高校上級レベルの語彙(3,001～4,000 語レベル)と文章表現の聞き取り・発音
TOEIC テスト学習コース～ETS 公式問題収録～	TOEIC テスト新公式問題集 vol.1, vol.2 の問題を使った自習用コース
中級 C	実践語彙 4,001～5,000 語レベルの単語と文章表現
中級 D	実践語彙 5,001～6,000 語レベルの単語と文章表現
上級 A	表現を深化する語彙 6,001～7,000 語レベルの単語と文章
上級 B	表現を深化する語彙 7,001～8,000 語レベルの単語と文章

印刷枚数の変更について

4月より、印刷枚数の上限値等が変更になりました。

■ 印刷用紙の割り当て枚数

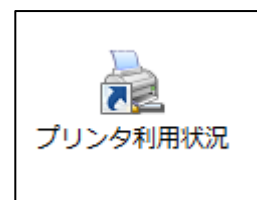
寝屋川) 各学期 100 枚 (前期 100 枚、後期 100 枚)

枚 方) 各学期 150 枚 (前期 150 枚、後期 150 枚)

残り枚数は次学期へ繰り越せます。

■ 印刷時に注意する点

- ・プリンタの初期設定は裏表両面印刷になっています
- ・枚数のカウント方法は出力した枚数です。以下の節約印刷により、枚数の節約が可能です
両面印刷 (表と裏に 2 ページ分の印刷が可能) [現設定]
N アップ印刷 (2 UP は 2 ページ分、4 UP は 4 ページ分を片面に印刷可能)
両面印刷、N アップ印刷を組み合わせる
(詳しい使い方は教室内の掲示物やセンターオンラインマニュアルを確認してください)
- ・テストプリント (印刷の練習や試し刷り等) や印刷ミスもカウントの対象となります
- ・印刷プレビュー等を用いて事前に出力範囲やレイアウトを確認してから印刷してください
- ・印刷使用枚数は、デスクトップ画面のショートカットから各自で確認できます
- ・A4 用紙のみ設置しています。A4 以外で出力しても、A4 に拡大/縮小して出力されます



枚数確認画面入口

パスワード変更について

入学時のパスワードは必ず変更してください。初期値のままにしておくと、容易に他人に見破られ、いたずらで勝手にメールを送信されたり、あやしいサイトに登録されることも考えられます。パスワードは各自で責任を持って管理してください。

パスワードリマインダを導入しました。指定の質問事項のうち 3 点を選択し、自分がわかる、自分しかわからないような回答を登録しておく、万が一パスワードを忘れてしまっても、あらかじめ選択した 3 つの質問に答えれば、パスワードがリセットされ、再度変更することができるようになります。

無線 LAN について

無線 LAN の設定値が変更になりました。マニュアルは情報メディアセンター窓口、またはオンラインマニュアルに掲載しています。学内の以下のエリアで無線 LAN は利用可能です。ログイン ID は教室の ID と同じです。



無線 LAN エリアの目印

- ◆ 図書館フロア 10 号館 地下 1 階～3 階
- ◆ 7 号館ロビー 7 号館 1 階
- ◆ 学生談話室 5 号館 1 階
- ◆ スカイラウンジ 11 号館 11 階
- ◆ 薬学部談話室、自習室 3 号館地下 1 階、1 階

情報メディアセンター学生窓口

学生の技術サポートを行っています。Word、Excel、PowerPoint 等のアプリケーションソフトやプリンタについての問い合わせの他、変更したパスワードを忘れたときなどの手続きは学生窓口にお越しください。

学生技術サポートデスク (10 号館 4 階)

CALL 準備室 (10 号館 6 階)

情報処理演習室 管理室 (枚方キャンパス 5 号館 3 階)

摂南大学

情報メディアセンター

事務室(10 号館 4 階)

<http://www.setsunan.ac.jp/~center/>

072(839)9113 ☎ 572-8508

寝屋川市池田中町 17-8

center@ofc.setsunan.ac.jp